

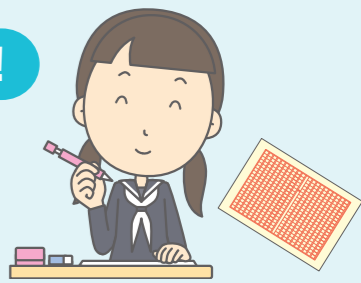
作文を書く 素材のヒント

生徒用

内容が生命保険にふれられていることが必要です。
自分自身に生命保険に関わる体験が無くても、作文を書くヒントは意外と簡単に見つかります。

このワークシートを使って作文の材料を整理してみましょう!

実際にインタビューなどをして、調べたことや感じたことをワークシートに書き出したら、作文の内容をじっくり考えましょう。切り取ってカードのように使うこともできます。順番通りに書かないといけないわけではありませんし、全て使わないといけないわけでもありません。自由に整理し作文の構成を考えてみましょう。



家族と話し合ってみましょう

あなたの家族は、生命保険についてどう考えているのでしょうか？ また、加入しているとしたら、どのような目的で、どのような種類のものに加しているのでしょうか？



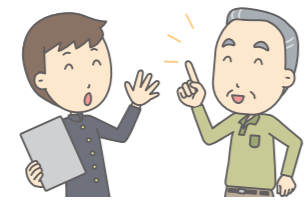
家族の将来について話し合ってみましょう

あなたの進学や就職のこと、また家族の将来の計画について話し合ってみましょう。そのために必要な家族の協力、準備とはなんでしょうか？



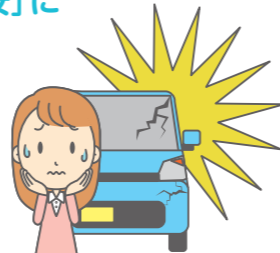
おじいちゃんやおばあちゃんの話聞いてみましょう

長い人生の経験から、私たちが思いもよらない生命保険に対する深い考えがあるかもしれません。また、老後のためにどのような準備をしてきたのかも聞いてみましょう。



くらしをとりまく「危険」や「不安」について考えてみましょう

家族の病気や事故などの「危険」に加え、超高齢社会といわれる現代では、老後の生活資金などの「不安」もあります。そうした危険や不安に対する備えとしての生命保険について考えてみましょう。



「生命保険に助けられた経験」を持っている人が身近にいませんか？

家族や親戚が病気やケガで入院したり、手術したりしたことなどはありますか？ 身近にいる人が体験したり、感じたりしたことを、自分自身に置きかえて考えてみましょう。



ニュースをチェックし、資料や統計を調べてみましょう

新聞やテレビでも生命保険は多く取り上げられ、図書館やインターネット上にも資料はたくさんあります。超高齢社会や介護、生活設計など、関連するキーワードで調べると、ヒントはたくさん見つかるでしょう。



第56回 中学生作文コンクールに応募しよう

課題 わたしたちのくらしと生命保険

生命保険(医療保険・介護保険・個人年金保険などを含む)にふれた内容であれば、題名は自由です。(例)「私の将来の夢と生命保険」「わが家の生活設計」「超高齢社会に備えて」など

応募枚数

400字詰原稿用紙2~4枚(A4サイズ以上)
(縦書き/題名/学校名/学年・組/氏名(フリガナ)/性別を明記し、右上ホチキス留めで提出してください。)

応募方法

- 担当の先生を通じて当センター宛てに送付してください。
- 個人からの直接応募も受け付けています。
(個人からの直接応募の場合も結果通知は学校宛てに送りますので、学校名と担当の先生のお名前を作文欄外にご記入ください。個人応募の際も、当センターHPから専用応募票を印刷のうえ、ご記入ください。)

☆参加賞

応募者全員に「クルトガ(ラバーグリップ付)」を贈呈します。

応募者
全員に

クルトガ
(ラバーグリップ付)
差し上げます!

芯が回って
トガリ続ける
シャープペン

参考資料を取り寄せて利用しよう!

マンガ

「生命保険って何だろう?」

- インターネットを利用または専用のFAX用紙をHPからダウンロードしてお申し込みください。

同じ内容がホームページでも見られます!

生命保険文化センター 検索
<http://www.jili.or.jp/>

作文コンクールの
応募要項は、当センター
ホームページを
ご覧ください。



携帯電話からも簡単にアクセス!



詳しくは、担当の先生に聞か、下記へお問い合わせください。

(公財)生命保険文化センター
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1新国際ビル3F
TEL: 03-5220-8517 FAX: 03-5220-9090
E-mail: sakubun@jili.or.jp

2018年4月作成

もともと持っていた生命保険の印象

記入例：大人が扱うものだと思っていた。命の代わり。命の値段。

家族の生命保険利用状況

記入例：親まかせで今まで気づかなかった。父が死亡保険、母が医療保険に加入している。自分も学資準備のための保険に加入していた。

家族や自分、知り合いの保険にまつわるエピソード

記入例：父が病気で手術した時に利用して助かった。祖母が骨折し、入院した時に利用して助かった。

本やインターネットなどで調べたこと

記入例：日本の約9割の世帯が生命保険に加入している。

意外に思ったこと、初めて知ったこと

記入例：中学生の自分も関係しているとわかり身近に思った。学資準備のための生命保険もあること。

生命保険について最も強く感じたこと

記入例：いざというとき安心できる。

調べる前と後での生命保険に対する気持ちの変化

記入例：自分の生活に深く関わっているので調べてみようと思った。両親の愛情がたまっていることがわかりうれしく思った。

作文で一番伝えたいと思ったこと

記入例：家族の大切さと心のつながり。備えあれば憂いなし。

自分はどう生命保険と関わっていきたいか

記入例：進学のと看役立ってほしい。将来、必要な保険をきちんと調べて入りたい。

自由記入欄
